

# 世界的な創造都市に向けて ～グレート・リセット～

【中間報告（案）】

大阪府市都市魅力戦略会議



# 世界的な創造都市に向けてグレート・リセット（全体概要）

## 都市魅力戦略 会議の目的

- 1 都市魅力創造にかかる府市事業の融合・統合
- 2 世界の都市間競争に打ち勝つ都市魅力創造の基盤づくり
- 3 『大大阪』にふさわしい都市魅力創造のシンボルプロジェクトの検討

- ◆経済の活性化
- ◆シビックプライドの醸成

「強い大阪」  
の実現

## 3つの組織の設立

### 大阪版アーツカウンシル

- 大阪における文化活動の実態に合った助成制度へ
- PDCAサイクルの確立

### 大阪観光局(仮称)

- 観光振興と都市魅力創造を一体的に推進
- 組織力強化
- 稼げる仕組みづくり

### 水と光のまちづくりオーソリティ

- 水と光の首都大阪
- 重点統合推進のエンジンとなる組織の設立

## 大阪府市都市魅力戦略の策定

(上位概念となる府市共通戦略)

文化施策

観光施策

国際交流

スポーツ施策

◇統一した戦略に基づき、府市既存事業の融合・再構築  
【広域・基礎仕分け、統合、バージョンアップ、新たな事業展開等】

### ◇必要な視点

民間活力を最大限に活用、府都市魅力創造戦略の基本方針の継承、産業政策との連携、世界に打って出る統一コンセプト 等

## 府市統合シンボルプロジェクト(例)

- 2015年を大阪文化観光創造のシンボルイヤーとする
  - ・ 水都大阪2015、大阪城まちづくり400年、道頓堀川開削400周年、天王寺動物園100周年 など
- 府市事業の融合・統合(バージョンアップ)
  - ・ 大阪マラソンのさらなる盛上げ
  - ・ 御堂筋kappo&御堂筋オープンフェスタ、御堂筋イルミネーション&光のルネサンスの融合・統合
  - ・ 水と光のまちづくりのブランド化
  - ・ 御堂筋デザイン・ストリート など
- 民間によるシンボルプロジェクト  
(⇒府市が規制緩和・PR等で支援)
  - ・ 道頓堀川のプール など

## 重点エリアのマネジメント戦略

大阪城・大手前・森之宮地区

⇒世界的な国際観光拠点へ

中之島文化芸術島構想

⇒「文化芸術」と「水と光」の融合によるエリア形成

御堂筋フェスティバルモール化

⇒恒常的なにぎわい空間へ

天王寺・阿倍野地区

⇒天王寺動植物公園を核としたエリア形成

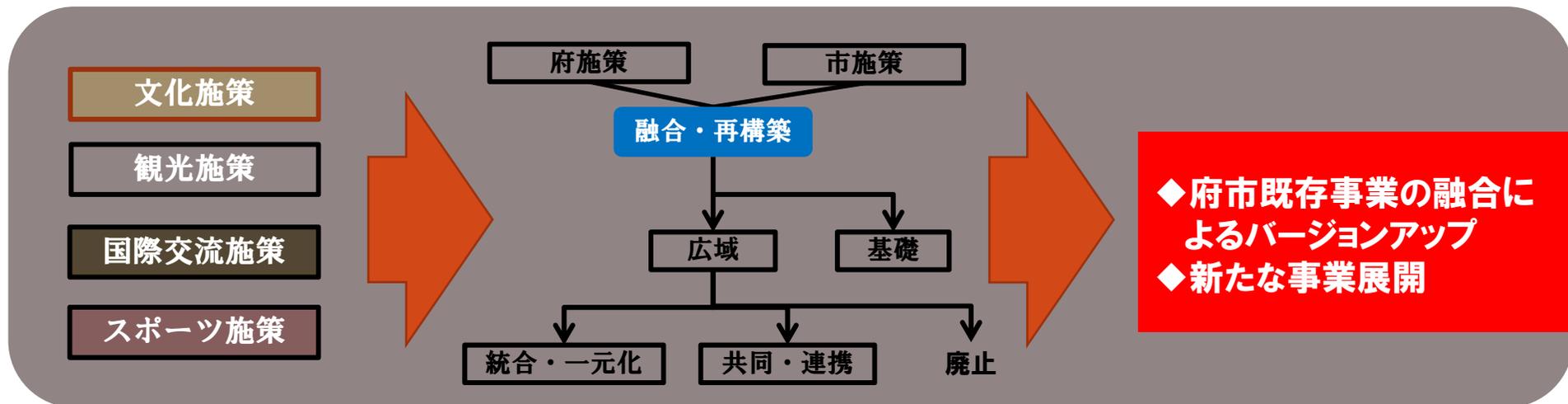
築港・ベイエリア地区

⇒大規模集客施設等を活用した観光集客エリアへ

・  
・  
・

# 府市都市魅力戦略の策定

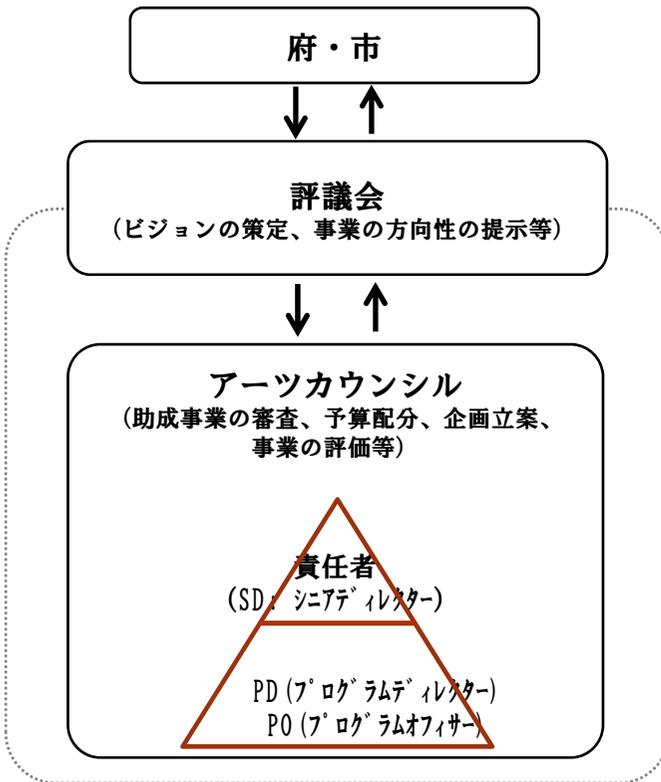
府市の都市魅力・観光・文化における戦略の一元化を図り、府市事業を融合し再構築する。



# 3つの組織の設立

## 大阪版アーツカウンシル(案)

芸術文化に関する評価・選定を行政でなく専門家を活用したアーツカウンシルを設置して行い、大阪にふさわしい文化を育む。



## 大阪観光局(仮称)の設立

オール大阪による唯一の集客事業母体。観光振興と都市魅力創造を一体的に推進。“大阪観光局”ブランドの確立、府内の集客事業プラットフォーム

### 組織力の強化

- 経営トップに企業役員経験者など外部人材登用 = 「CEO」
- 国際観光・国際会議誘致に精通した人材登用 = 「MICEマネジャー」
- 組織戦略・マーケティングを担う「経営・企画部門」の設置

### 稼げる仕組みづくり

- 有償サービスの企画・提供(セミナー、ビジネスマッチング等)
- 会員の増強
- 大阪観光局ブランドによる商品開発

## 水と光のまちづくりオーソリティの設立

重点統合推進のエンジンとなる組織を設立

### オーソリティ

- 横断的なまちづくり
- デザインレビュー
- 規制緩和
- 行政のリーダーシップ

### パートナーズ

- 統合したプロモーション
- 通年イベントコーディネート
- 都市情報の集約
- 資金集めの一本化
- 民間主導、民間プロデューサー登用
- PDCAをまわすマネジメント体制

⇒水と光のまちづくりにおいて先導的に実施。他の重点エリアにおいても検討

◆数値目標の設定 ◆競争原理の導入 ◆PDCAサイクルの確立 ◆府市の予算枠組整理

# 重点エリアのマネジメント戦略

- ・ エリアの特性に応じてエリアマネジメントを推進・大阪版「B I D※」の導入を検討
- ・ 「グランドデザイン・大阪」の対象エリアとの整合を図りつつ検討

## 中之島文化芸術島構想

⇒「文化芸術」と「水と光」の融合によるエリア形成

- ◆ 世界に誇るミュージアムの創設
- ◆ 既存の美術館や歴史的建築物の活用

## 御堂筋フェスティバルモール化

⇒恒常的なにぎわい空間へ

- ◆ 歩行者空間の拡充
- ◆ 難波駅前の広場化

難波駅前を歩行者主体のにぎわい空間に



## 大阪城・大手前・森之宮地区

⇒世界的な国際観光拠点へ

- ◆ 民活による集客施設の立地
- ◆ 豊臣期石垣の活用
- ◆ パークマネジメントの導入



## 築港・ベイエリア地区

⇒大規模集客施設等を活用した観光集客エリアへ

- ◆ クルーズ客船等を活用した築港エリアの再開発
- ◆ エンターテインメント都市構想の推進

## 天王寺・阿倍野地区

⇒天王寺動植物公園を核としたエリア形成

※BID(Business Improvement District)とは  
地域活性化(都市再生)の事業を進めるため、地域の合意を基礎に設立される組織。  
主財源は負担金であり、①組織運営、②プロモーション、③デザイン、経済立て直し  
を包括的に実施するエリアマネジメントを発展させたルール・資金等を含んだ総合的  
の制度。日本では法的根拠がなく本格的な導入事例はない。

# 府市統合シンボルプロジェクト（例）

## シンボルプロジェクトとは

- 府市統合の象徴となる都市魅力創造事業（既存事業の融合・新規事業）
- 世界都市大阪にふさわしい世界的名物となるもの

## 方向性と考え方

- 恒久的な大阪の都市創造、賑わいづくりにつながるもの
- 既存の都市魅力資源を最大限活用
- プロジェクトは民間が主体（民間のアイデア・ノウハウ・資金の活用）
- 公共は民間の活動を最大限にサポート（規制緩和、インセンティブ、支援体制づくり）

### ● 「官民連携」によるシンボルプロジェクト

- ◆ 2015年を大阪文化観光創造のシンボライヤーとする
  - ・水都大阪2015、大阪城まちづくり400年、道頓堀川開削400周年、天王寺動物園100周年 など
- ◆ 民間によるシンボルプロジェクト
  - ・道頓堀川のプール 他

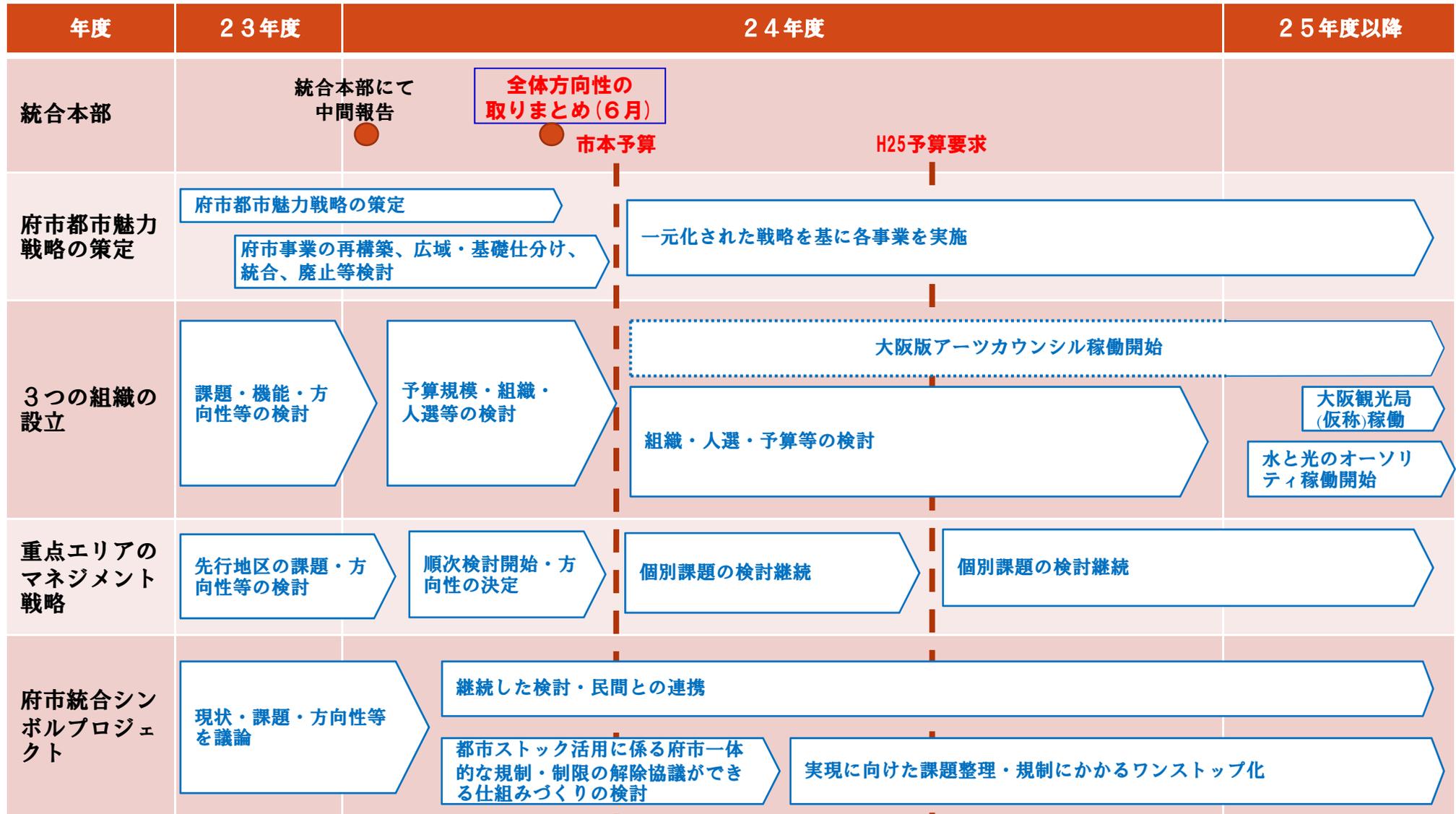


都市ストック活用に係る府市一体的な規制・制限の解除協議ができる仕組みを作り、民間のプロジェクを後押し（ワンストップ化）

### ● 「府市融合」のもと世界第一級を作る

- ◆ 府市事業の融合・統合（バージョンアップ）
  - ・大阪マラソンのさらなる盛上げ
  - ・御堂筋kappo&御堂筋オープンフェスタ、御堂筋イルミネーション&光のルネサンスの融合・統合
  - ・水と光のまちづくりのブランド化
  - ・御堂筋デザインストリート など
- ◆ 世界第一級の文化観光拠点の形成
  - ・大阪城周辺地区の国際観光拠点化
  - ・中之島文化芸術島構想
  - ・水と光のまちづくりの推進
  - ・御堂筋フェスティバル・モール化構想
  - ・築港・ベイエリア
  - ・あべの・天王寺（天王寺動物園） など

# 検討スケジュール（案）



# 各WGの作業状況

WG	作業状況	作業予定・課題等
①アーツ・カウンシル検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>政策機能、事業の検証評価機能等の位置付けとふさわしい組織の検討</li> <li>芸術文化活動への支援のあり方の検討</li> <li>文化行政にふさわしいPDCAを確立する制度設計の検討</li> <li>大阪の強みを活かす戦略の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評議会、アーツカウンシルの機能、設置方法、人選等</li> <li>予算規模別シミュレーション</li> <li>利権化を防ぐチェックシステム 等</li> </ul>
②文化芸術重点エリア検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>中之島を文化芸術の重点地域と位置付け、観光拠点(ブランド)化を図るためのエリアマネジメントの検討</li> <li>近代美術館構想の再構築（世界的なミュージアムの創設にむけて）</li> <li>観光集客の視点を踏まえたコンサートホール整備の必要性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中之島における「文化芸術」と「水と光」のシンボリックな融合に向けた取組みの検討</li> <li>広域行政の視点からみた新たな美術館に対するコンセプトの検討</li> <li>コンサートホール整備に対するニーズの把握</li> </ul>
③水と光のまちづくり推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「水と光の首都大阪」実現に向け、水と光の名所づくり（水と光のコリドール）、都市魅力戦略を先導する事業（水と光のグランパル）、プロモーション戦略（ブランド発信、シビックプライドプラザ）を検討</li> <li>取組み推進のための制度・仕組み・体制（特区、B I D、オーソリティー・パートナーズ）の設計、構築の必要性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制緩和に向けた取り組み</li> <li>推進体制のイメージ具体化</li> <li>スケジュール策定</li> </ul>
④シンボルプロジェクト検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界都市大阪にふさわしい都市魅力創造のシンボルプロジェクトの検討</li> <li>シンボルプロジェクト推進の考え方（方向性、官民の役割分担等）</li> <li>民間プロジェクトへの府市のサポート体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間プロジェクトの誘導</li> <li>府市サポート体制の検討（府市一体的な規制・制限の解除協議ができる仕組みづくり）</li> </ul>
⑤主要事業・計画等再構築検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>府市の事務事業、ビジョン・計画、審議会等における当面の連携・融合方策、新たな大都市制度を見据えた仕分け（広域・基礎自治体）の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月を目途に、府市の事務局案を作成</li> </ul>
⑥観光・国際交流戦略検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>府市の国際化戦略・外交方針の一本化の検討</li> <li>府市の観光戦略の一本化・‘大阪観光局（仮称）’に向けた大阪観光コンベンション協会のあり方検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略・方針の統合に向けた検討と個別事業の仕分け</li> <li>大阪観光局（仮称）のあり方について、大阪観光コンベンション協会設立時の原点に立ち返り検討</li> </ul>
⑦文化施策再検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>府市文化施策の今後の方向性を検討するにあたっての視点の検討</li> <li>府市事業の融合・統合に向けた広域・基礎の仕分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>融合・統合が可能な事業の検討</li> <li>施策の再構築とアーツカウンシルとの関係の整理</li> <li>大阪府文化振興会議との調整・意見の反映</li> </ul>
⑧エリアマネジメント検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際観光拠点化に向け、周辺地区も含めた観光拠点化のための全体構想の検討</li> <li>エリアマネジメント、パークマネジメントによる大阪城公園の一体的なマネジメント手法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光拠点化のための全体構想の策定</li> <li>民間活力の導入に向けた環境整備</li> <li>行政の公園管理体制の一元化の検討</li> <li>マネジメント組織のあり方の検討</li> </ul>